

1 特定健康診査受診率向上・特定保健指導利用率向上事業

事業背景	事業目標	課題	個別事業	事業概要	実施状況(令和5年12月時点)																
死因や医療費が多い原因は生活習慣病である。	特定健康診査でリスクの早期発見・予防ができることから、特定健康診査の受診率の向上や特定保健指導実施率の向上を目指す。	【特定健康診査】 未受診理由アンケートによると、通院中で定期的に検査をしているため受けないという人が多い。 集団健診の当日キャンセルが多い。	<table border="1"> <tr> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>健診受診率(県内順位) (受診者数/対象者数)</td> <td>52.7%(8位) (3,156人/5,989人)</td> <td>54.1%(9位) (3,160人/5,845人)</td> <td>50.7%(4位) (2,952人/5,827人)</td> <td>55.4%(2位) (3,145人/5,678人)</td> <td>56.6%(1位) (3,062人/5,412人)</td> </tr> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	健診受診率(県内順位) (受診者数/対象者数)	52.7%(8位) (3,156人/5,989人)	54.1%(9位) (3,160人/5,845人)	50.7%(4位) (2,952人/5,827人)	55.4%(2位) (3,145人/5,678人)	56.6%(1位) (3,062人/5,412人)	<table border="1"> <tr> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>健診受診率(県内順位) (受診者数/対象者数)</td> <td>55.4%(2位) (3,145人/5,678人)</td> <td>56.6%(1位) (3,062人/5,412人)</td> </tr> </table>	令和3年度	令和4年度	健診受診率(県内順位) (受診者数/対象者数)	55.4%(2位) (3,145人/5,678人)	56.6%(1位) (3,062人/5,412人)
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度														
			健診受診率(県内順位) (受診者数/対象者数)	52.7%(8位) (3,156人/5,989人)	54.1%(9位) (3,160人/5,845人)	50.7%(4位) (2,952人/5,827人)	55.4%(2位) (3,145人/5,678人)	56.6%(1位) (3,062人/5,412人)													
		令和3年度	令和4年度																		
		健診受診率(県内順位) (受診者数/対象者数)	55.4%(2位) (3,145人/5,678人)	56.6%(1位) (3,062人/5,412人)																	
		受診勧奨	令和5年度健診未申込者を対象に受診勧奨通知を送付。健診受診歴、健診所見有無及び生活習慣病における医療機関受診有無、生活改善意欲により、7パターンに分類し、対象者に合わせた通知を行った。通知後、SMSによる受診を促すメッセージを送信。URLより健診申込みや申込みしない場合の未受診理由の回答を可能とした。	<table border="1"> <tr> <td>勸奨時期</td> <td>令和5年7月～8月</td> </tr> <tr> <td>通知件数</td> <td>2,641件</td> </tr> <tr> <td>SMS送信件数</td> <td>529件</td> </tr> <tr> <td>申込件数</td> <td>314件</td> </tr> <tr> <td>うち、SMSからの申込み</td> <td>46件</td> </tr> </table>	勸奨時期	令和5年7月～8月	通知件数	2,641件	SMS送信件数	529件	申込件数	314件	うち、SMSからの申込み	46件							
勸奨時期	令和5年7月～8月																				
通知件数	2,641件																				
SMS送信件数	529件																				
申込件数	314件																				
うち、SMSからの申込み	46件																				
オンライン申込受付	健診予約システムを導入し、健診案内や受診勧奨通知にQRコードをのせてオンラインで日時を指定した申込みや申込み内容の変更ができるようにした。	オンライン申込件数 1,183件/2,296件(51.5%) 集団健診当日キャンセル率 令和3年度 15.9% 令和4年度 8.8% 令和5年度 8.5%																			
<table border="1"> <tr> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>保健指導実施率 (終了者数/対象者数)</td> <td>27.7%(22位) (90人/325人)</td> <td>24.4%(27位) (78人/320人)</td> <td>29.5%(17位) (87人/295人)</td> <td>40.5%(13位) (111人/274人)</td> </tr> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	保健指導実施率 (終了者数/対象者数)	27.7%(22位) (90人/325人)	24.4%(27位) (78人/320人)	29.5%(17位) (87人/295人)	40.5%(13位) (111人/274人)	<table border="1"> <tr> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <td>保健指導実施率 (終了者数/対象者数)</td> <td>29.5%(17位) (87人/295人)</td> <td>40.5%(13位) (111人/274人)</td> </tr> </table>	令和3年度	令和4年度	保健指導実施率 (終了者数/対象者数)	29.5%(17位) (87人/295人)	40.5%(13位) (111人/274人)				
平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																	
保健指導実施率 (終了者数/対象者数)	27.7%(22位) (90人/325人)	24.4%(27位) (78人/320人)	29.5%(17位) (87人/295人)	40.5%(13位) (111人/274人)																	
令和3年度	令和4年度																				
保健指導実施率 (終了者数/対象者数)	29.5%(17位) (87人/295人)	40.5%(13位) (111人/274人)																			
初回面談分割実施	集団健診会場で腹囲、BMI、血圧から対象者を判定し、初回面談を行う。利用率向上のため、問診時に医師から保健指導へ誘導する。(保健指導は管理栄養士により実施)	実施者数 令和4年度 68名/対象者 73名(93.2%) 令和5年度 89名/対象者107名(83.2%)																			
個別健診実施医療機関からの勧奨	個別健診実施医療機関で健診結果返却時に対象者に対し、保健指導を案内する。	個別健診受診者の保健指導対象者 80名 うち、保健指導利用者 42名 うち、医療機関からの案内による保健指導利用者 2名																			

2 重症化予防事業

事業背景	事業目標	課題	個別事業	事業概要	実施状況
疾病別医療費割合で最も多いのは糖尿病である	糖尿病が重症化し、合併症を引き起こすことを防ぐ。	疾病の未治療もしくは医療機関を受診しているにもかかわらず数値が改善しない状態(アンコントロール)が原因で重症化し、透析や入院、手術が必要になる人がいる。	(専門医と連携した)糖尿病重症化予防事業	人工透析や心疾患で入院や手術に至る可能性の高い者をAIにより抽出し、愛知医科大学病院糖尿病内科専門医やかかりつけ医と連携し、管理栄養士、保健師によりアプリやZOOMなどを活用した個別指導(生活・食事・服薬・運動)を行う。 食事、服薬、運動等のデータや指導内容はかかりつけ医、かかりつけ薬局、専門医に共有し、普段の診察や調剤時の服薬指導等に役立てていただく。専門医から投薬や食事指導についてのアドバイスをいただいたり、事業の最後にはかかりつけ医に向けて診断基準を提示してもらうため、事業終了後も、医療連携が期待できる。  専門医と連携した取組は全国的にもめずらしい。	令和5年度実施中 ・事業参加者 8名(令和4年度 13名) うち、アプリ利用者8名(令和4年度 12名) ・事業参加医療機関 市内5機関、市外2機関(令和4年度 市内5機関) ・事業参加薬局 市内3施設、市外2施設 ・事業に参加している専門医 愛知医科大学糖尿病内科 7名

3 健康づくり事業

事業背景	事業目標	課題	個別事業	事業概要	実施状況
コレステロールの高い人、運動習慣のない人、生活改善意欲のない人の割合が高い。	コレステロールが高いと、脳梗塞や心筋梗塞を引き起こすため、原因となる運動不足などの生活習慣の改善が必要である。	健康教室を開いても、参加者が固定されており、特に若い世代の参加がない	加入者向け健康WEBサービス	パソコンやスマートフォンにより、健診結果を、健康度を示す指標である「健康年齢」を使って分かりやすく提供している。また、対象者の健康状態に合わせた健康記事を提供したり、WEB内で健康に関するイベントや毎日の歩数の記録などの取組に応じてポイントを付与する。ポイントをためて健康関連グッズ等に交換することができる。	〈登録者数〉 令和3年12月 587人、令和4年12月 685人、令和5年12月 714人 〈健康イベント参加者数〉 ・体重測定チャレンジ(令和5年1月開催) 96人 ・健康クイズ(令和5年8月開催) 95人 ・1日5,000歩チャレンジ(令和4年10～11月開催) 115人 (令和5年5～6月開催) 113人 ・健診結果改善チャレンジ(令和4年度) 590人
心筋梗塞患者のうち、約24%が60歳以下で発症しており、若年者は、高齢者より心肺停止で発症することが多い。	肥満、喫煙、魚の摂取不足が若年性心筋梗塞のリスク要因と考えられるため、生活習慣の改善が必要である。	EPA/AA比(魚の摂取量を測る値)が低い人が多い。	◎若年性心筋梗塞予防事業	・水産コーナー等でのメニュー展開、普及活動 EPA摂取を始めとする適切な食事を促進するためのレシピ等を市内店舗を利用して周知する。 ・特設会場でのイベント開催 民間事業者と連携した測定会(骨密度、血管年齢等)や専門医による食事(栄養)、運動、喫煙についての講演等を実施し正しい知識を身につけてもらう。	令和5年10月、健康づくりに関する市民サービスの向上を図ることを目的として、雪印メグミルク㈱と覚書を締結し、食生活の改善、食育の推進、その他市民の健康増進に関することについて連携し、協力することとなった。  現在、雪印メグミルク㈱の協力で、市内店舗に対し事業実施の依頼中。展開するレシピは、EPAが豊富な魚を選定しチーズなどの乳製品を合わせて子どもが喜ぶメニューを中心に、若い世代に取り入れてもらえるよう工夫する。